

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路新設改良事業(岱明玉名線単独)		所管課 【2】	建設課
			評価者(担当者)	植田暁人
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)生活道路網の整備 (3)「15分構想」の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H17～H32 年度予定 : 金額 3,633,235 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 社会資本整備総合交付金、県市協定 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 2 目 3 細目 3			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市は、東西方向を横断する国道を有しているが、南北方向を縦断するアクセス道路は脆弱であるため、JR鹿児島本線の南部方面から中心市街地へのアクセス道路整備が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	JR鹿児島本線の南部方面から、中心市街地へ向かう交通アクセス機能の向上を図る。また、緊急輸送路である国道208号線と国道501号線とを連絡し、災害時の流通ルートを確認し、市の防災機能の向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H17 年度～ H32 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	国道208号と国道501号を結ぶアクセス道路で、県道長洲玉名線からJRを高架し、国道208号線までの区間である。県道の交差点改良で400m、国道の交差点改良で300mも併せて行うものである。全体延長=3.7km 本線施工延長=1.1km 幅員=22.0m 交差点改良(県道長洲玉名線、国道208号線)
	事務事業を構成する細事業 【15】 ⇒ ① 岱明玉名線用地購入事業 ② 岱明玉名線補償事業 ③ 岱明玉名線委託事業 ④ 岱明玉名線工事請負事業 ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

			H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	— %					1,640,123
		県支出金	%					
		起債	95 %	4,480	24,800	64,700	91,160	1,754,100
		受益者負担						
		その他						
		一般財源		966	1,485	3,439	4,991	239,012
	【16】 小計		5,446	26,285	68,139	96,151	3,633,235	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		543	603	625	668		
	職人件費	職員人工数		0.30	0.30	0.30	0.30	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,424	5,761	5,761	5,761	
【17】 小計			1,627	1,728	1,728	1,728		
合計			7,073	28,013	69,867	97,879		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 岱明玉名線用地購入事業	事業に関する用地の取得を行う。	取得面積	m ²	100	145	768	178
② 岱明玉名線補償事業	建物、工作物、立木、営業等の補償を行う。	契約件数	件	0	0	1	2
③ 岱明玉名線委託事業	測量、設計、調査、試験等の各種委託を行う。	委託件数	件	1	4	2	9
④ 岱明玉名線工事請負事業	本線、国道、県道、JR橋等の工事を行う。	整備延長メートル数	m	0	70	250	250
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 岱明玉名線の整備率	整備済延長/計画延長×100	%	0.0 0.0	0.0 6.3	18.0 29.0	52.0
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	本事業の交付金は、要望額の約19%と低い交付率であることから事業の進捗が遅れている。そのため、単独費を補てんしてでも、より効果を上げる必要がある。また、難航していた用地取得については平成27年度に大幅に進展した。平成28年度以降も地権者との任意交渉を行う。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	長洲港及び各JR駅・新幹線新玉名駅・菊水ICなど主要な交通結節点へのアクセスが改善されることにより、物流や観光等において、地域経済の活性化が期待される。東日本大震災から予算の配分が小さくなり、工程に遅れが生じていたが、平成27年度の外部評価委員会にて、合併特例債を有効に活用し、予算を拡充して継続とするという判断がなされた。これに基づき平成32年度の完成を目指す。
昨年からの見直し・改善状況【32】	社会資本整備総合交付金事業として、採択され、交付金の配分を受けることとなった。それに伴い、事務事業を効果的、効率的に行うため、他の社会資本整備総合交付金事業(松木14号線、小浜繁根木線、竹崎1号線)との事務事業を一本化した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	長洲港から国道501号、国道208号を連結する重要な幹線道路であり、県北の各交通拠点とのアクセス向上を目的に早期完了を目指すため、予算を拡充して行おうことが必要である。	評価責任者 松野 政宏
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	----------------